

津島市都市計画マスタープラン等策定委員会（第11回）議事録

1. 日時 : 令和6年1月30日（火）午後2時00分～午後3時00分
2. 場所 : 津島市役所5階第一委員会室
3. 出席委員 : 9名、オブザーバー 2名
4. 事務局 : 加藤建設産業部長、武田参事
市川課長、松尾室長、菱田統括主任、志知統括主任、山本主査

5. 議事内容 :

(1) パブリックコメント結果について

6. 議事概要 :

(1) パブリックコメント結果について

委員 : ・評価指標のうち、居住誘導区域内の可住地人口密度は現況値ではなく、趨勢値という表現に変更してはどうか。

防災指針の具体的な取組の表について、継続して実施する取組の矢印はフェーズごとに区切らず、一つの矢印にしてはどうか。

事務局 : ・ご指摘の通り、修正する。

オブザーバー : ・評価指標のうち、居住誘導区域内で非耐震となる昭和56年以前の住宅の割合が前回委員会と違うが、見直しをしたという事か。
また、空家率は市で把握しているのか。

事務局 : ・前回委員会後に数字の見直しをしたところ、この数値となった。

空家率は「津島市空家等対策計画」で中心市街地、市街化調整区域のそれぞれを整理している。空家率が顕著に高いのが、津島駅を中心とする地区で29%以上となっている。空家対策に関連して、来年度以降、空家の取り壊しに関する資金補助を1件20万円から50万に変更することを考えている。そういった施策を進めていく中で空家率や非耐震住宅の減少等に効果がでてくれば、計画の見直しの際に目標値を変更することを考えている。

委員 : ・パブリックコメントの意見①は神島田地区周辺での郵便局の利用が、現状不便であるため、本計画で郵便局を誘導施設に位置づけていないことについて疑問であるという意見かと思う。郵便局は市街化調整区域等においても立地が可能で、特に都市機能誘導区域に集約する必要がないということを市民の方に分かりやすく記述すると良い。

意見⑤については、誘導施策のエリアマネジメント等の記載を紹介しつつ、市として多様な主体とともにまちづくりを進めている最中である旨を記述するとよい。

- 事務局 : ・意見①はきちんと意見の意図を組んだ形でお応えできるように記載を修正する。
意見⑤について、社会実験等を通して、エリアマネジメントに取り組んでいる最中であり、今後もこの取組を進めていく旨を市の想いとして記述する。
- 委員 : ・防災訓練等の事前準備を1回でも行っていれば、災害時の行動に大きな差が出ると思う。計画書を作って終わりではなく、計画策定をきっかけにして取組を進めていただきたい。
- 委員 : ・計画書が絵に描いた餅にならないように、今後、取り組んで頂きたいと思う。
- 委員 : ・立地適正化計画を実効性のある計画にしてほしい。他の市町でも同じように若い世代の居住誘導に取り組んでいるかと思うので、津島市も負けないように、子育てがしやすいまち、安心安全に暮らせるまちにしてほしい。
- 委員 : ・今後は市民の防災意識をいかに向上されるかが重要になってくると思う。計画書の内容についても情報発信していくべきかと思う。
- 委員 : ・防災指針の具体的な取組の備蓄の確保は避難生活時にも効果が発揮されるため、復興時だけでなく、避難時にも矢印を引くとよい。取組は行政だけでなく市民も一緒になって実施していくことが重要なため、しっかり力を入れて情報発信をしてほしい。
- 事務局 : ・矢印の表現については、ご意見のように修正する。
- 委員 : ・併せて、BCP の策定や事前復興まちづくりも、どのフェーズに効果を発揮するか精査したうえで記載を検討すると良い。
- 委員 : ・能登半島地震では、ビニールハウスに避難している人がいると聞いた。津島市でも防災協力農地の活用を検討していると思うが、農家の高齢化等の課題もある中で、まちづくりにおける農業の位置づけも重要かと思う。
ここ数年、津島を選んで開業している店が増えてきており、うれしく思う。今後のまちづくりにも期待したい。
- 委員 : ・能登半島地震では、大規模火災が発生したが、津島市に当てはめると狭あい道路の多い津島駅周辺の市街地が該当すると思う。狭あい道路の拡幅についての取組も必要になると思う。広範囲の浸水に対しての広域避難はぜひ実行できるように取組を

進めていってほしい。

事務局 : ・パブリックコメントでも同様の意見があったため、狭あい道路の拡幅は具体的な取組に位置付けている。

委員 : ・広域避難、広域の浸水に対するインフラ整備は市単独で取り組めない内容のため、国・県等と協力して進めると良い。

ワグナー : ・以前、石川県を訪問した際に非耐震の木造住宅が多いと感じた。能登半島地震ではこういった住宅により被害が拡大したということも考えられる。空家対策については、次回見直しの際には詳細に検討いただければと思う。

ワグナー : ・愛知県では、津島市は精力的にまちづくりにとりくんでいる市であると認識している。今回、立地適正化計画に居住誘導区域と防災指針が追加され、今後、魅力的かつ災害に強いまちづくりに取り組んでいただけることを期待している。

以上